

第16回男女共同参画フォーラム

医師の働きやすい環境づくりに向けて ～大分県における長時間労働対策と女性医師の復帰支援について～

大分県福祉保健部 医療政策課長
小野 宏

目 次

- 1 大分県の医療政策の概要
- 2 医師の従事状況
- 3 地域医療を担う医師の養成・確保
- 4 医師の長時間労働対策と
女性医師の復帰支援

1 大分県の医療政策の概要

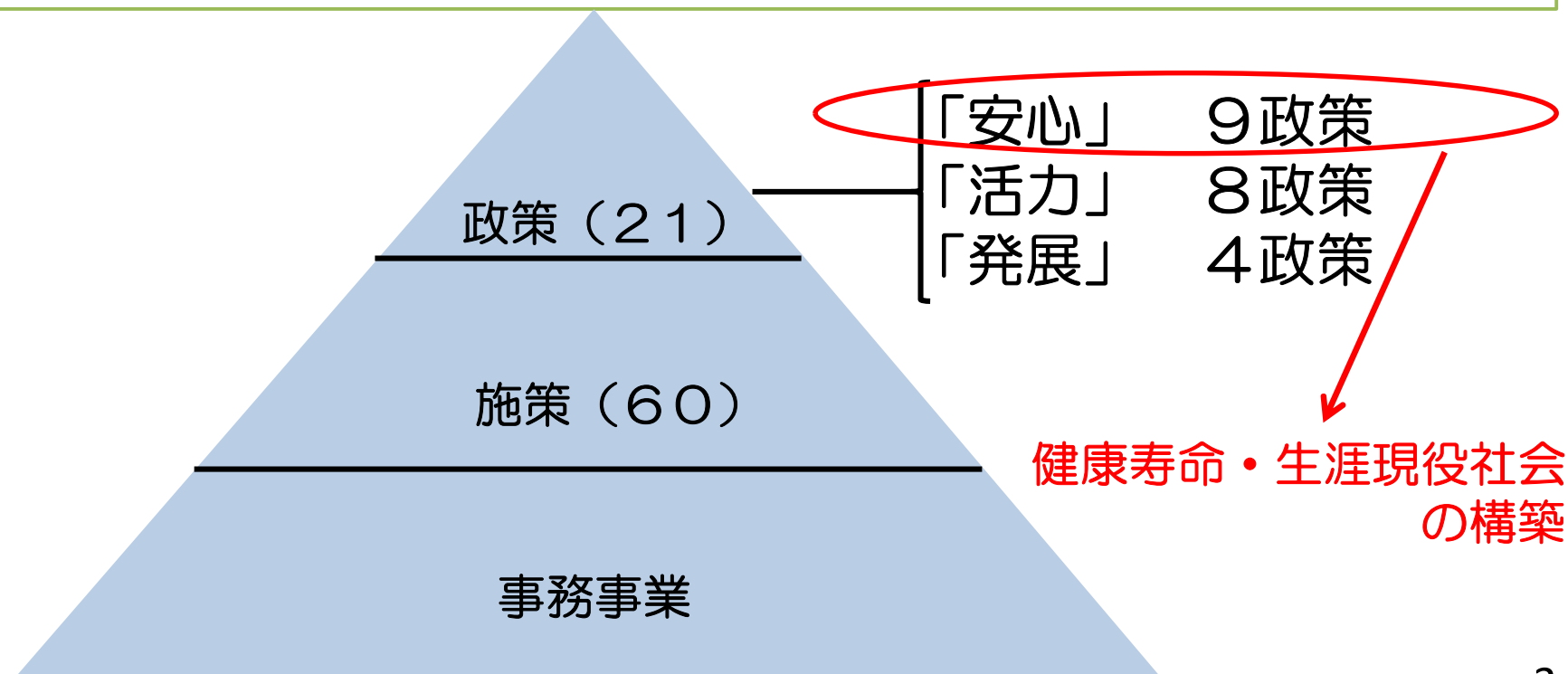
安心で質の高い医療サービスの充実

(1) 大分県の政策

長期総合計画：【安心・活力・発展プラン2015】

【基本目標】

県民とともに築く「安心」「活力」「発展」の大分県



(2)大分県の医療政策

【政策】

安心分野 健康寿命・生涯現役社会の構築

【施策】

(1)みんなで進める健康づくり運動の推進

(2)高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築

(3)安心で質の高い医療サービスの充実

～どこに住んでいても、安全で質の高い医療サービスが
受けられる体制づくり～

【主な取組】（医療政策課分）

(1)医療従事者等の育成・確保

(2)救急医療等医療体制の充実・強化

(3)医療機能の分化と連携等による地域医療の充実

【目標指標】

地域中核病院の医師充足率:100%(R6年度)

(プラン策定時:H26年度73.5%→R3年度84.4%)

新型コロナウイルス感染症への対応

- ・入院病床の確保

R3年4月時点 38病院367床 ⇒ R3年12月29日 44病院508床

- ・宿泊療養体制の確保(協定数 13棟 1,510室)

R3年4月時点 1棟170室 ⇒ R4年2月2日 11棟 1,360室

人口当たり確保数全国2位

⇒ R4年2月2日 11棟 1,360室(うち臨時の医療施設 1棟 175室)

※第6波では1月18日から約2週間で8棟 916室を増設



増設に備えた医療従事者の輪番制構築(R3. 12～)

- ・県医師会、各郡市医師会、病院協会、公的・公立病院
- ・一月当たり協力延べ人数

医師:約60人、看護師:約550人 現在も継続

2 医師の従事状況

大分県の医師数の推移

平成22年は2,931人だった医師数は、令和2年には3,227人と、この10年間で296人増加している。

二次医療圏別医師数

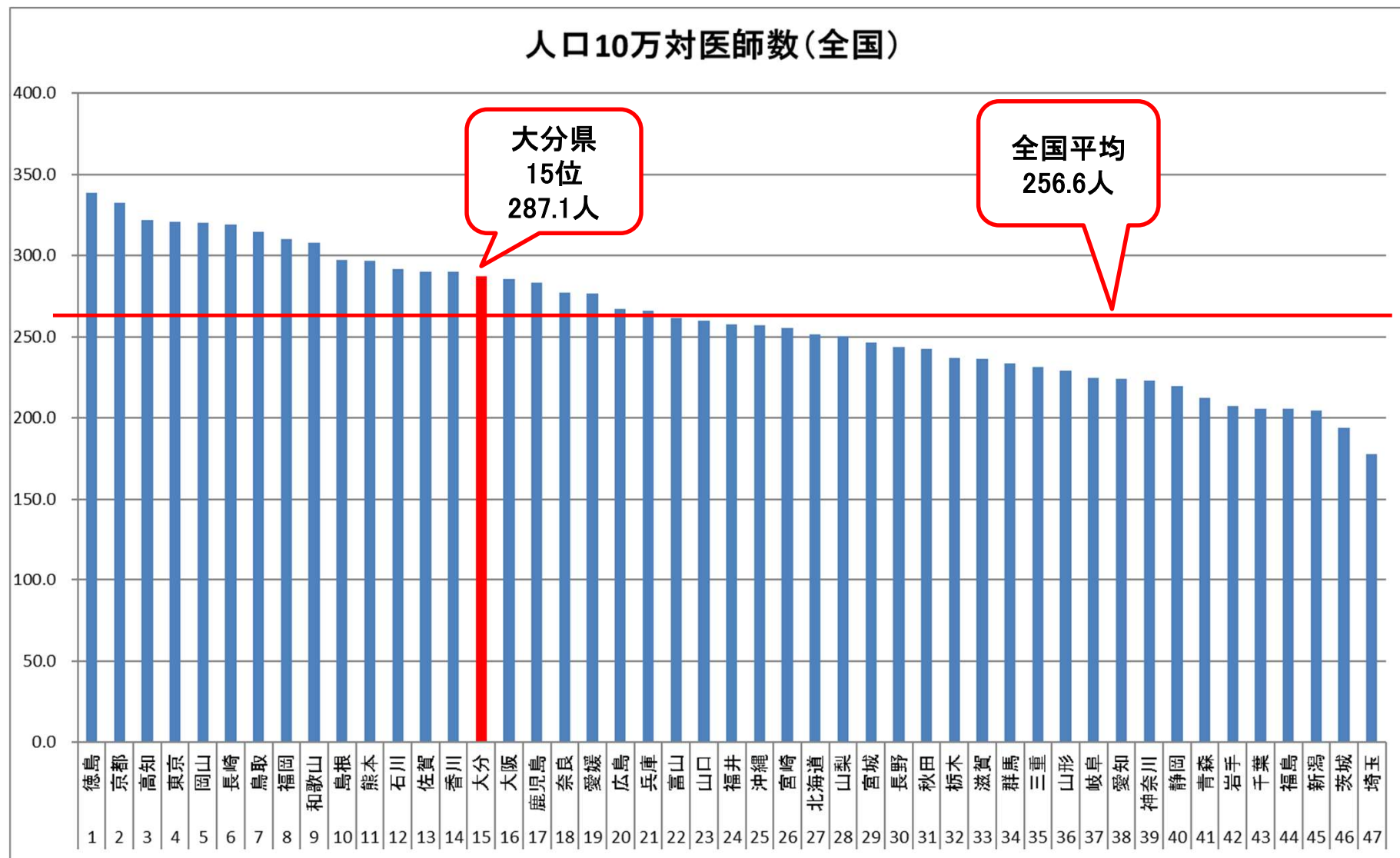
(単位: 人)

	H22	H24	H26	H28	H30	R2	R2-H22
県全体	2,931	3,040	3,054	3,115	3,148	3,227	296
東部医療圏	595	615	624	659	662	667	72
中部医療圏	1,644	1,713	1,713	1,741	1,771	1,833	189
南部医療圏	133	140	141	131	131	144	11
豊肥医療圏	107	107	100	113	115	108	1
西部医療圏	150	157	152	154	152	156	6
北部医療圏	302	308	324	317	317	319	17

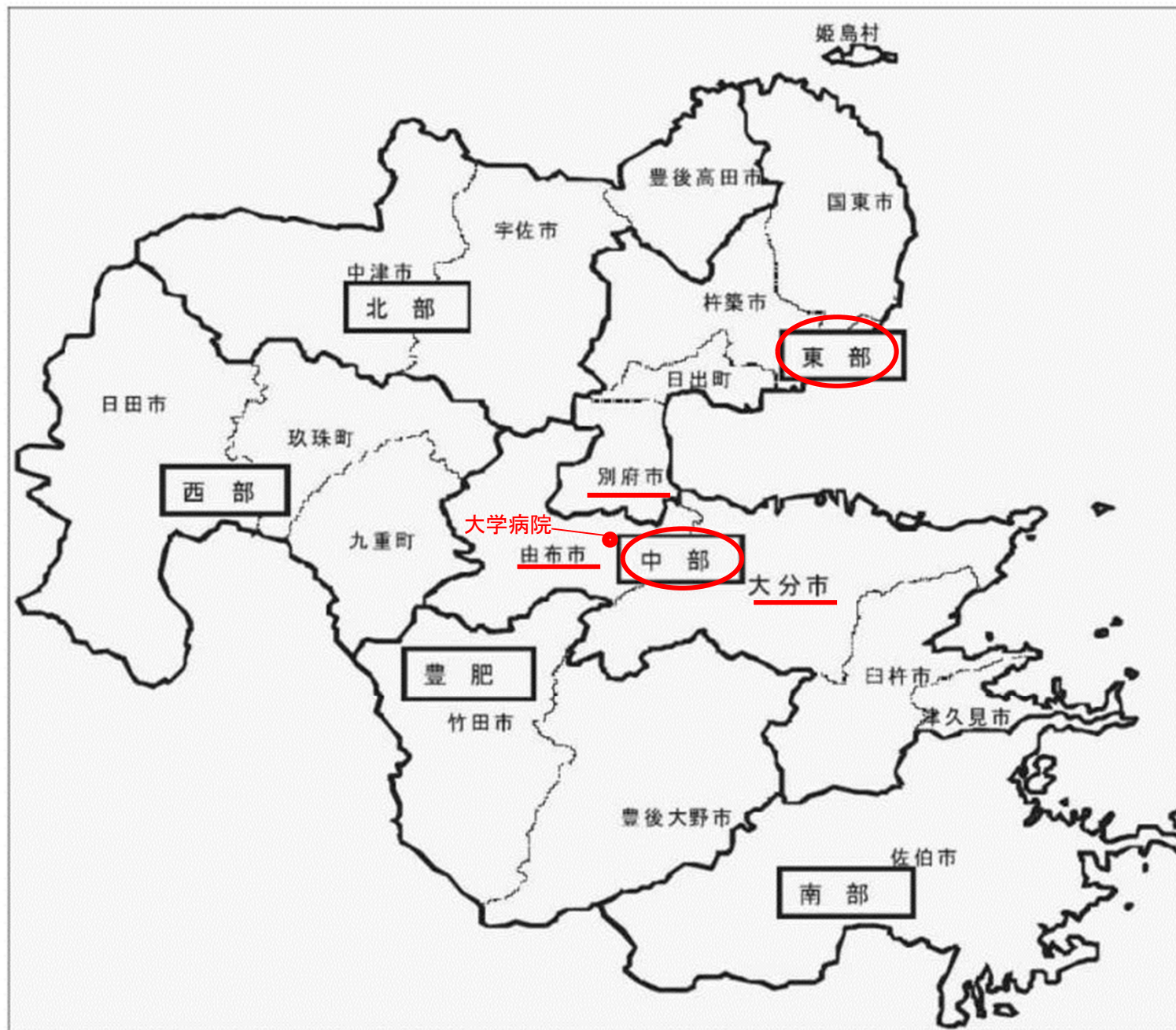
出典: 医師・歯科医師・薬剤師統計

人口10万人対医師数(全国順位)

本県の人口10万人当たりの医師数は287.1人で全国平均を上回る。

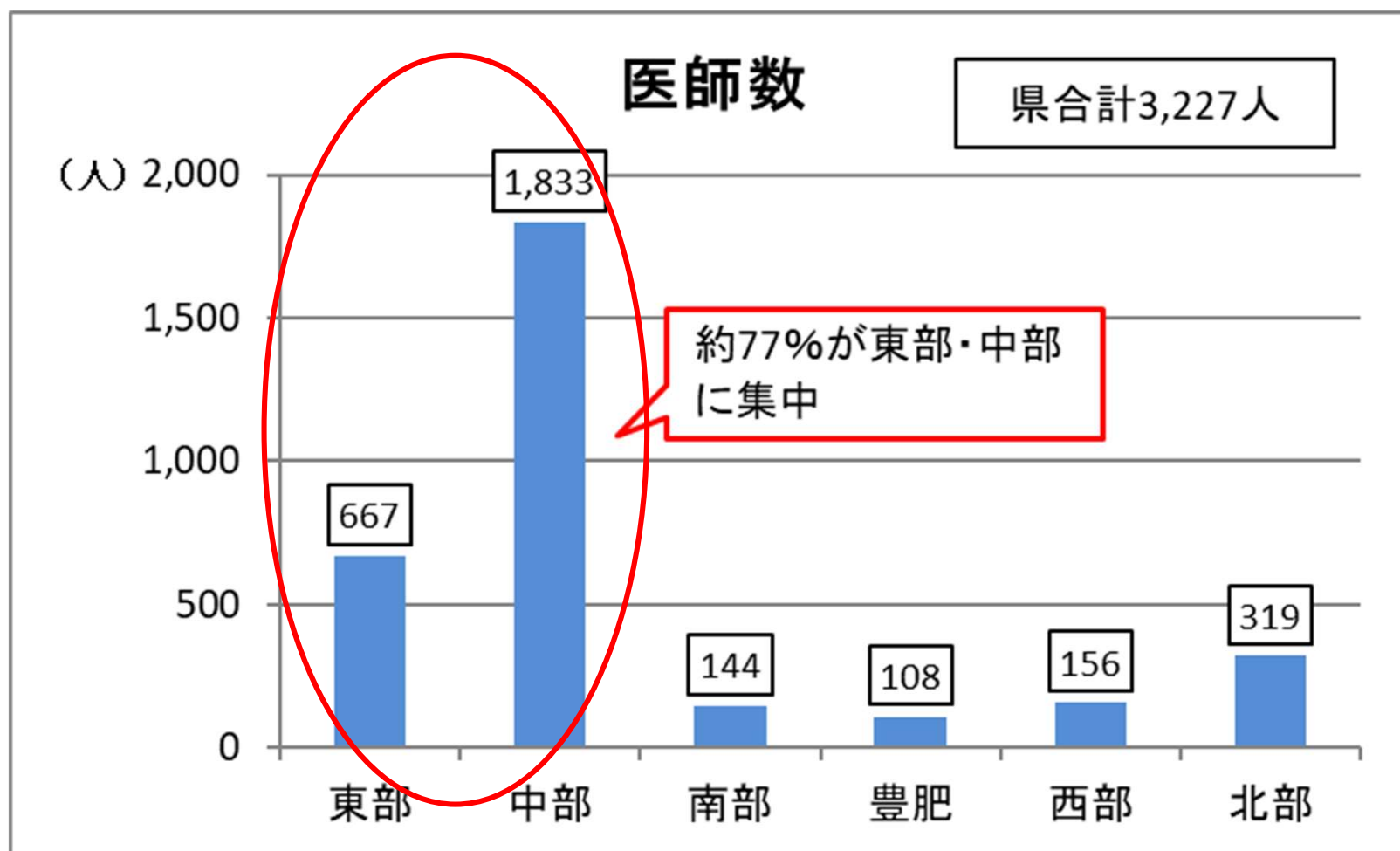


大分県の二次医療圏



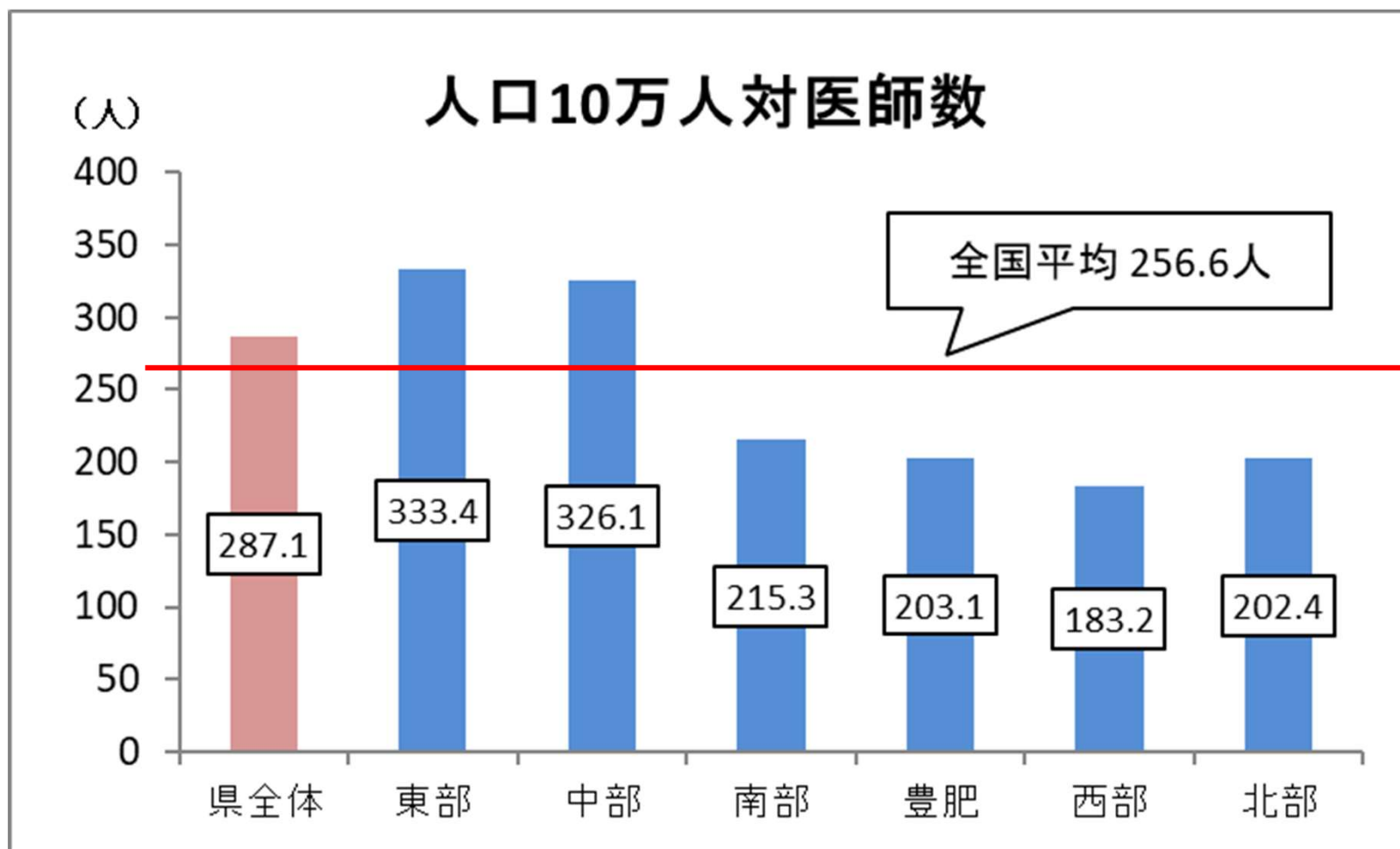
大分県の二次医療圏ごとの医師数

大分市、大学病院のある由布市が含まれる**中部医療圏**と、別府市が含まれる**東部医療圏**に**77%の医師が集中**している。



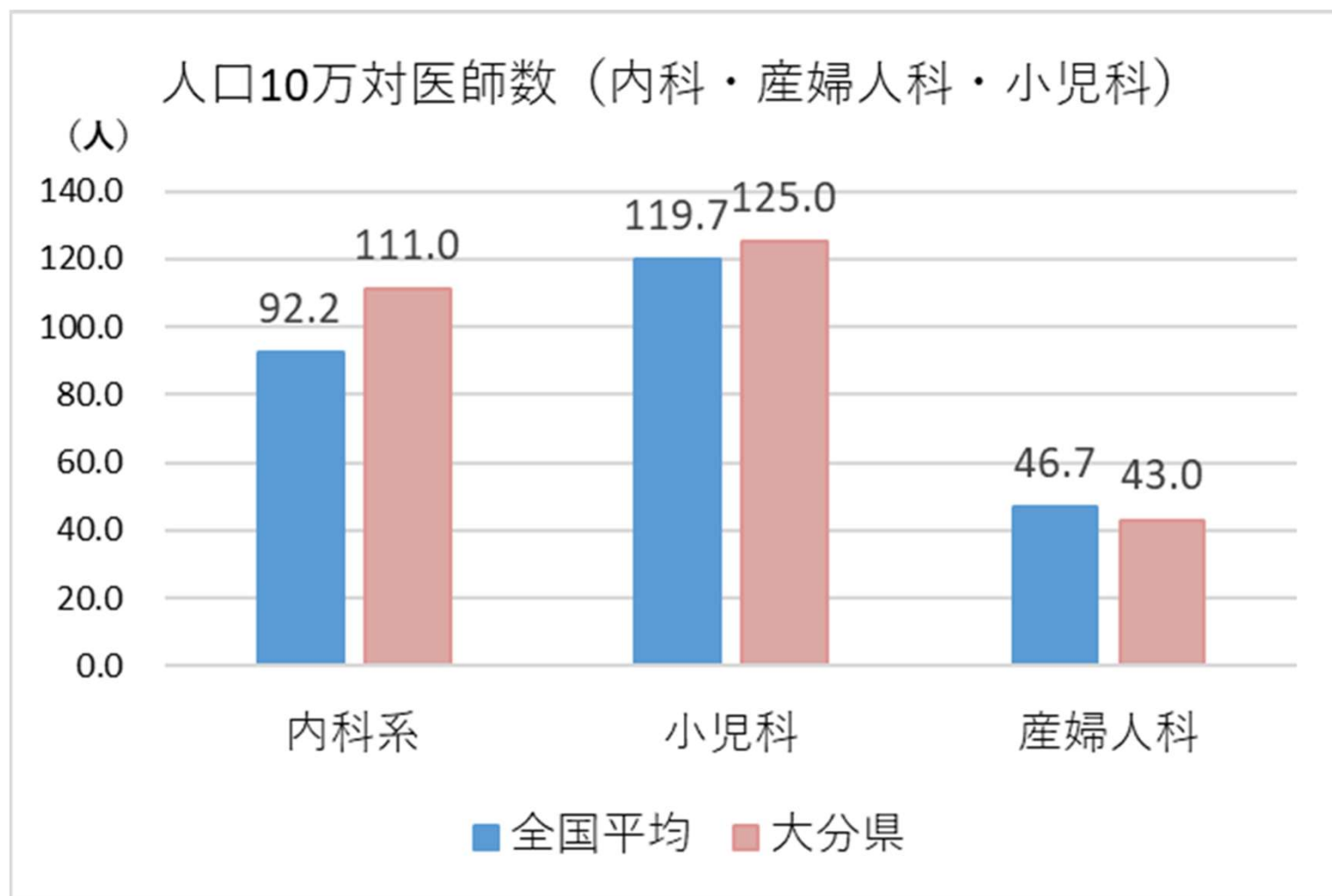
大分県の二次医療圏ごとの医師数(人口10万人対)

東部医療圏と中部医療圏は全国平均を上回っているが、それ以外の圏域では全国平均を下回っており、医師の地域偏在が大きな課題となっている。



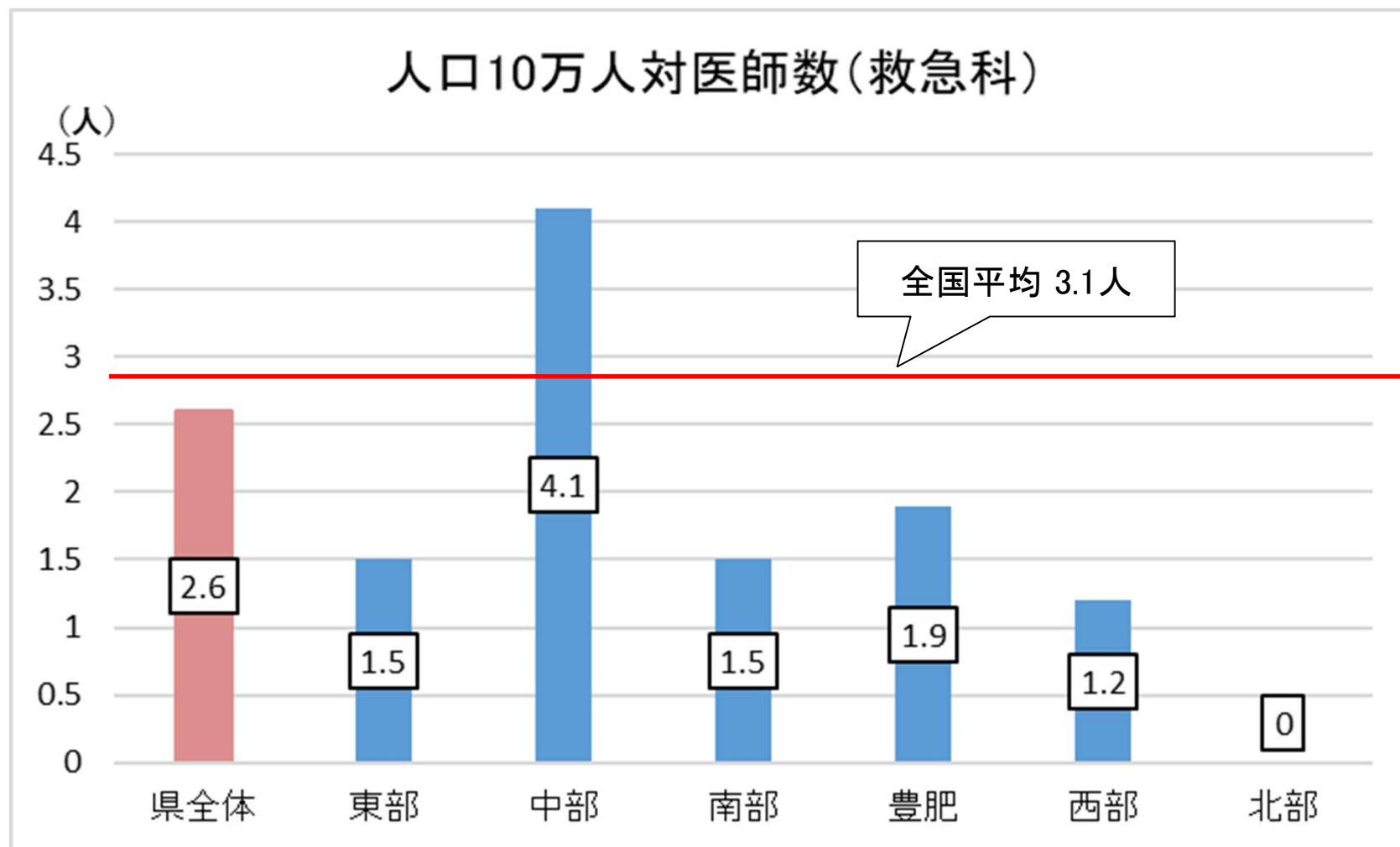
大分県の診療科ごとの医師数(人口10万人対)

内科系は全国平均を上回っているが、小児科は同水準、産婦人科では全国平均を下回っている。



大分県の診療科ごとの医師数(救急科)

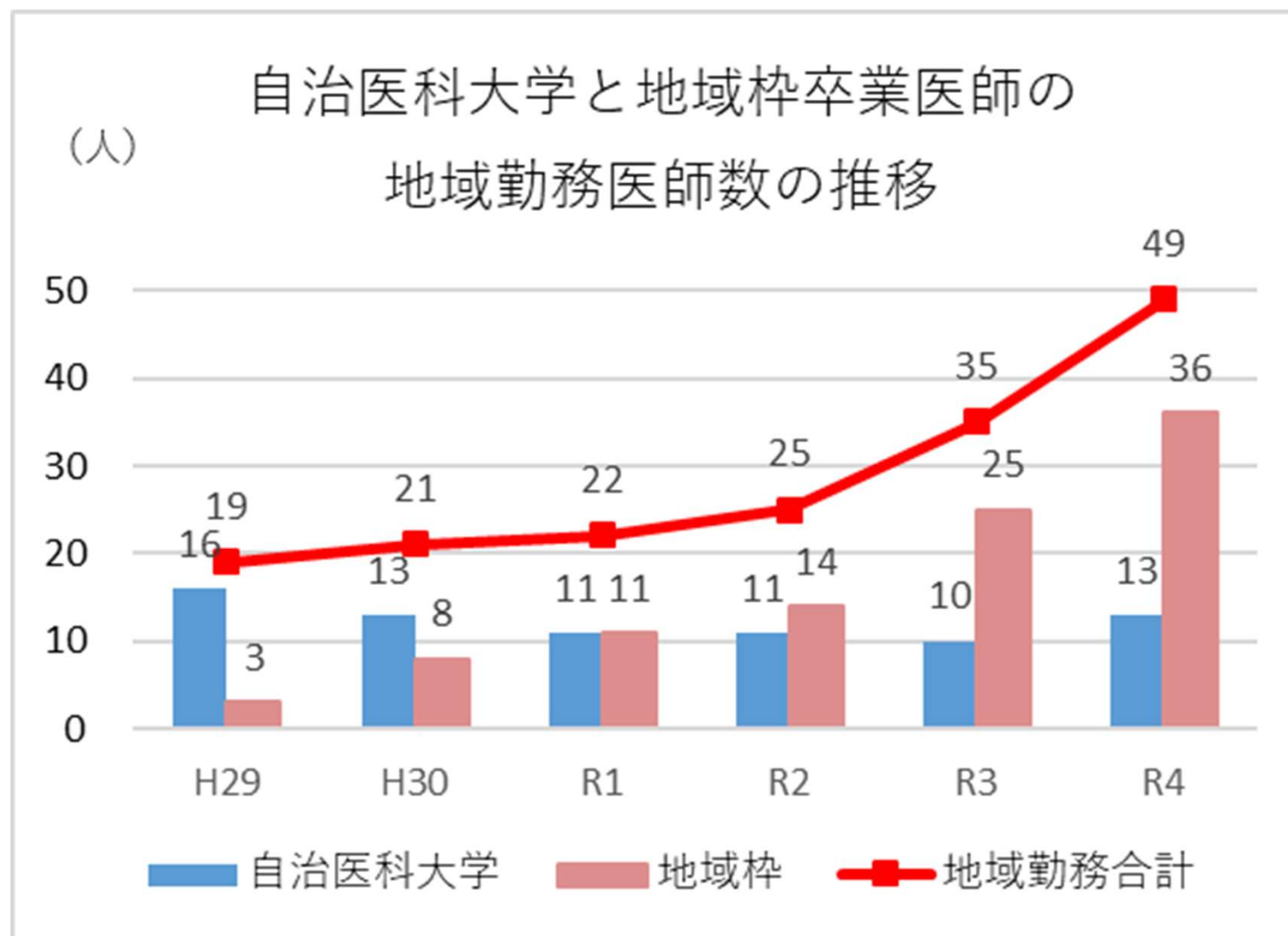
救急科医数も全国平均を下回っており、特に地域偏在が顕著となっている。



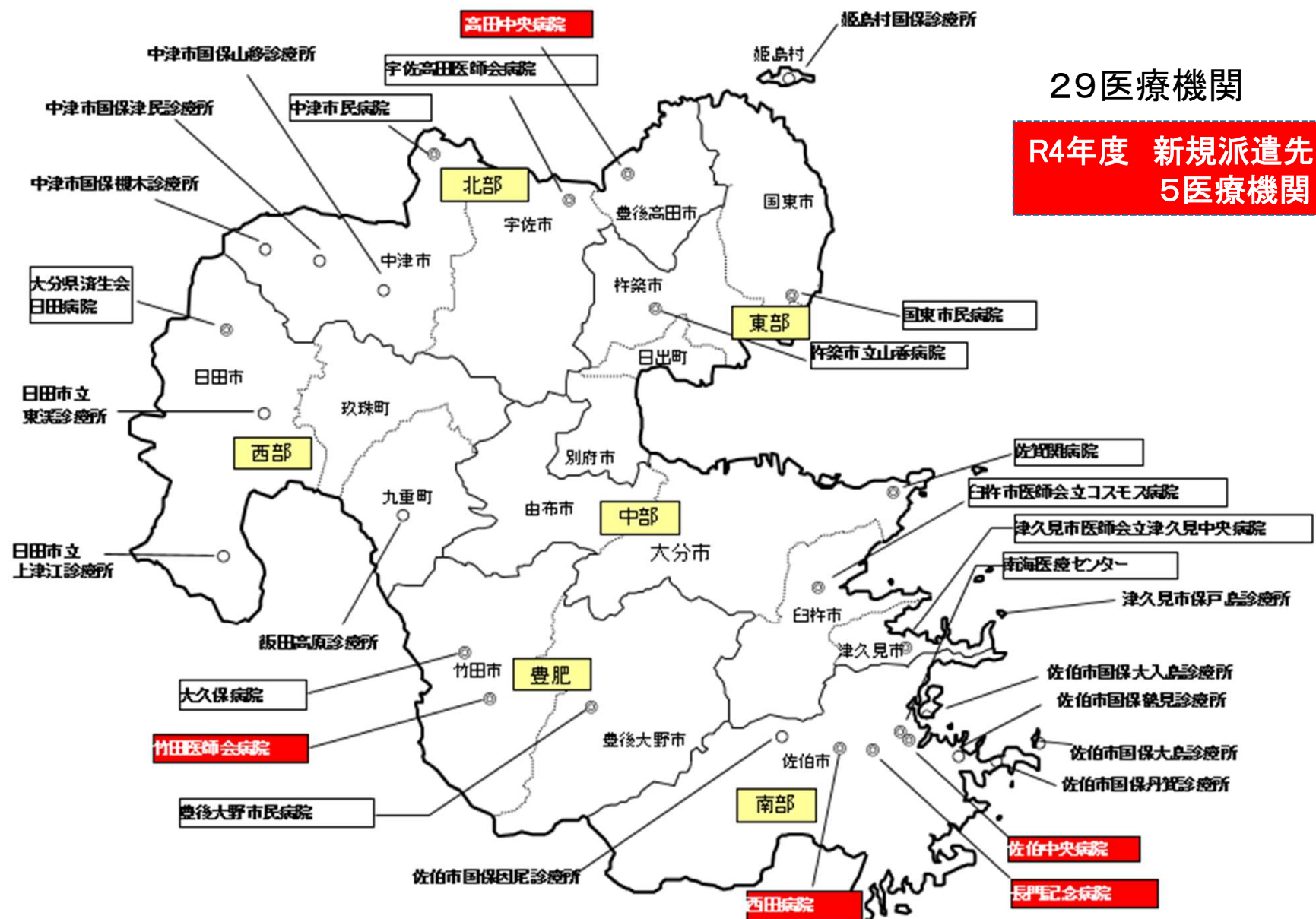
3 地域医療を担う医師の養成・確保

自治医科大と医学部地域枠医師の養成

自治医科大学(定員2~3人)と大分大学医学部地域枠(定員13人)により、へき地等で勤務する医師を養成。**R4年度は49名が地域勤務**を行っている。

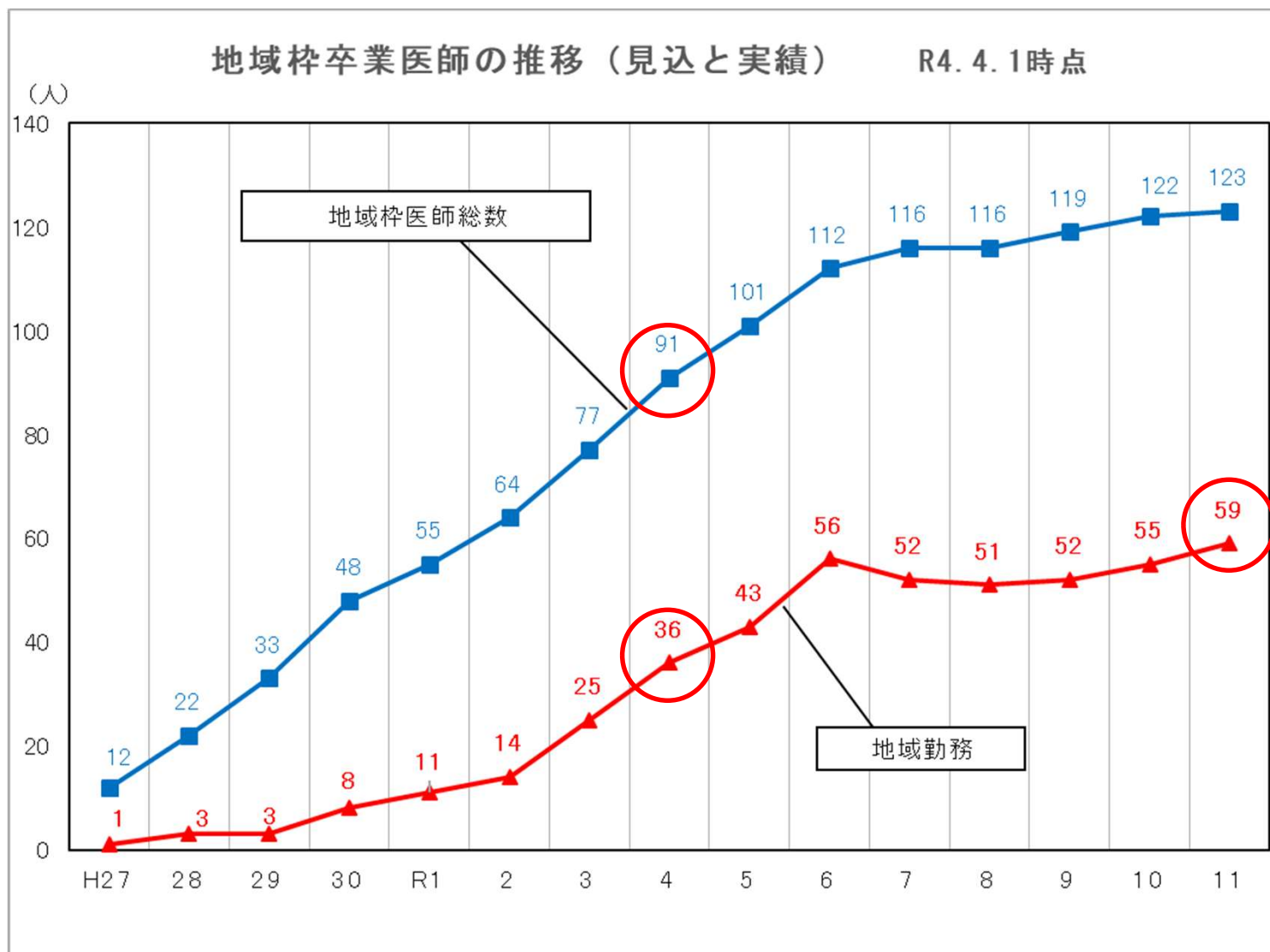


派遣中の地域の医療機関



地域枠卒業医師の推移

大分大学地域枠卒業医師は現在91人で、このうち、36人がへき地医療拠点病院等で地域勤務を行っている。ピークの令和11年度には、59人（自治医科大学卒業医師を加えると約70名）の配置を見込んでおり、地域の医師不足は大きく改善できる予定



特定診療科対策

1 医師研修資金貸与制度(H19～)

地域の中核的な病院や特定診療科(小児科・産婦人科・救急科)で専門研修を行う医師に対し、研修資金を貸与
貸与金額 月額15万円(3年以内) ※救急科はR4から追加

2 大分県医師留学研修支援事業(H20～)

地域中核病院や小児科・産婦人科で勤務する医師が診療技術向上のために行う国内外での研修支援
基準額 50万円×研修派遣月数(6月以内、12月以内)
補助率 県1/2、病院1/2

3 おおいた地域医療支援システム構築事業(H20～)

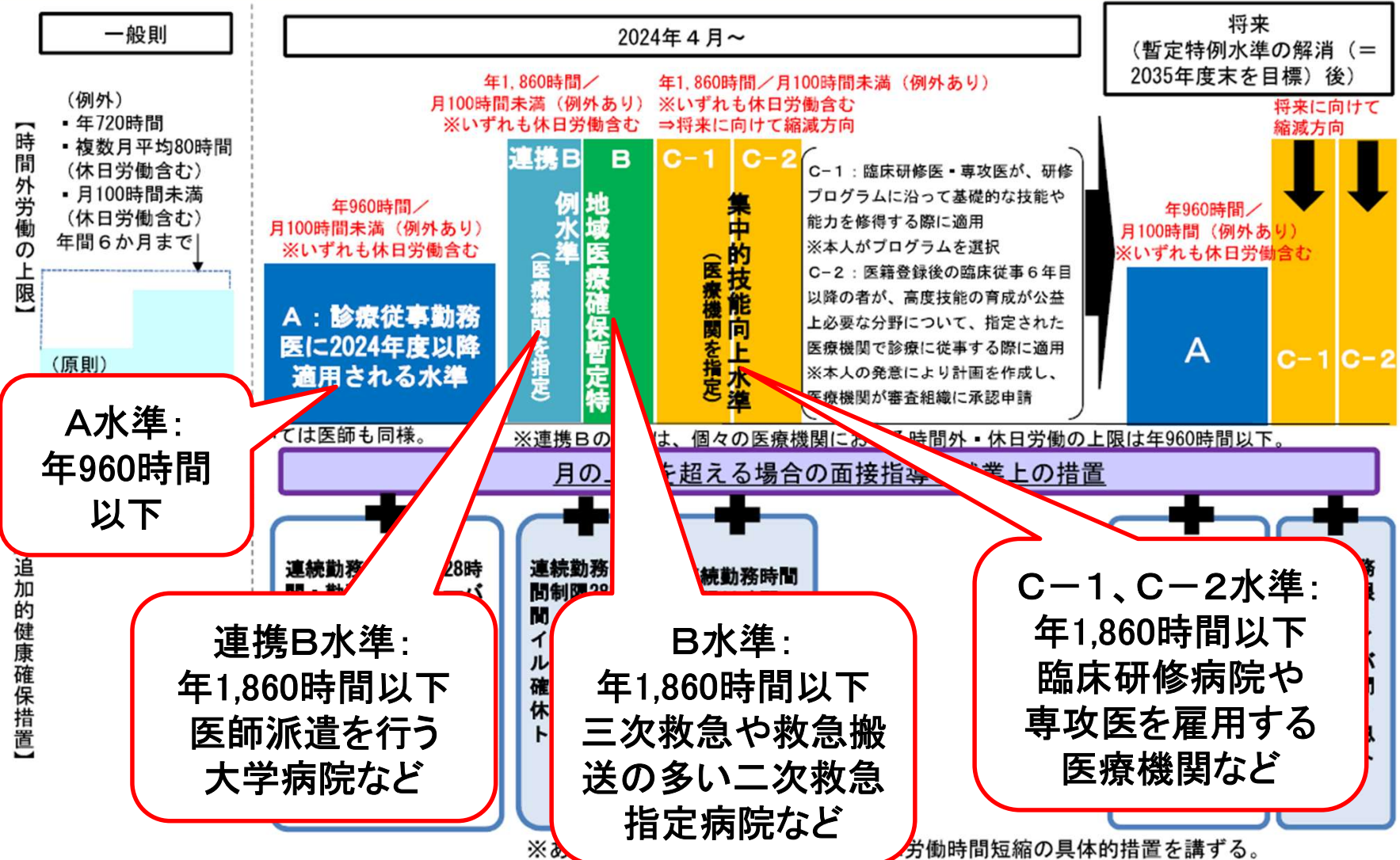
地域中核病院に小児科医・産婦人科医を派遣するシステム(人材育成プログラムの開発・運用を大分大学に委託
派遣先：中津・国東・杵築

4 産科医等確保支援事業(分娩手当助成)(H21～)

分娩手当を支給する分娩取扱施設に対し助成
基準額 1分娩当たり1万円
補助率 県1/3

4 医師の長時間労働対策と 女性医師の復帰支援

医師の時間外労働規制について



医師の時間外労働上限規制に係る病院ヒアリング

B水準の施設要件を満たす医療機関(19施設)に対し、ヒアリングを実施
医療勤務環境改善支援センターのアドバイザーから労働時間の管理方法や宿
日直許可などについて助言

B水準指定医療機関候補リスト

※R1病床機能報告を基に想定

	医療機関施設名	B. 救急医療の実施状況						時間外労働 時間960h/ 年の医師が いる ※R3医師の働 き方に関する 調査
		① 休日に 受診した 患者延べ 数	うち、診察 後直ちに 入院となっ た患者延べ 数	② 夜間・ 時間外に 受診した 患者延べ 数	うち、診察 後直ちに 入院となっ た患者延べ 数	①②入院 患者数	③ 救急車 の受入件 数	
1	A病院	4,392	871	7,176	1,854	2,735	2,426	○
2	B病院	2,789	608	4,159	1,196	1,804	2,355	○
3	C病院	2,534	418	4,054	896	1,314	2,416	○
4	D病院	2,176	615	3,590	2,472	3,087	2,851	○
5	E病院	2,075	330	1,650	454	784	1,831	○
6	F病院	2,034	343	2,213	589	932	1,290	○
7	G病院	1,717	844	3,223	1,540	2,384	2,344	○
8	H病院	1,530	737	1,758	796	1,533	1,533	○
9	I病院	12,054	384	9,157	615	999	611	
10	J病院	5,583	249	2,458	350	599	879	
11	K病院	3,100	955	2,083	773	1,728	2,679	
12	L病院	2,941	348	3,395	530	878	2,207	
13	M病院	2,913	199	2,922	335	534	636	
14	N病院	2,622	275	1,832	623	898	1,080	
15	O病院	2,617	452	1,293	340	792	1,494	
16	P病院	2,082	381	3,302	835	1,216	1,843	
17	Q病院	1,496	206	1,936	449	655	883	
18	R病院	1,056	317	555	167	484	1,603	
19	S病院	491	211	912	400	611	904	

年960時間超
8病院

B水準要件

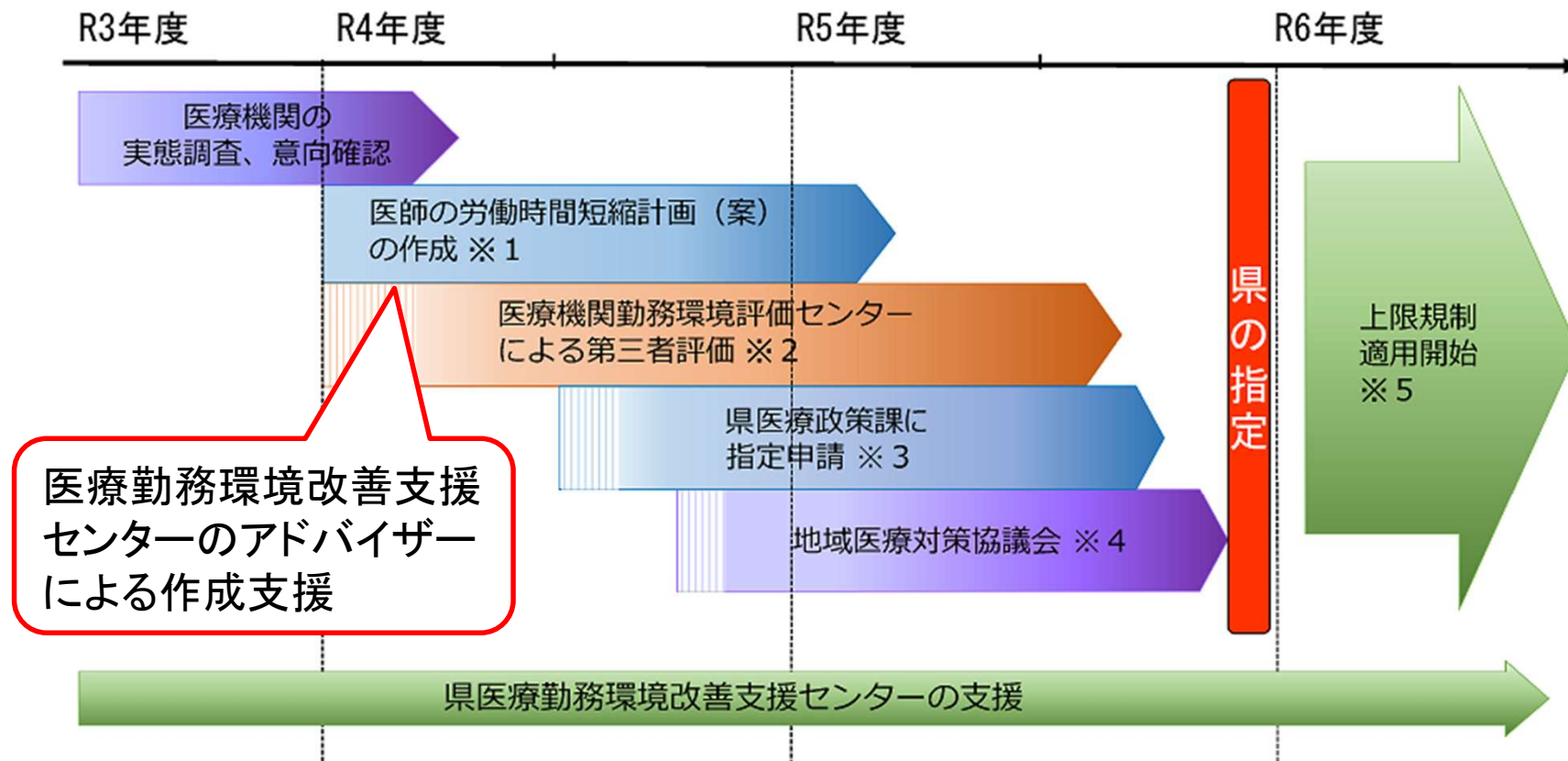
<施設要件>

- ① 3次救急医療機関
- ② 2次救急医療機関 且つ「年間救急車受入台数1,000台以上
又は 夜間・休日・時間外入院件数500件以上」且つ「医療
計画において5疾病5事業の確保のために必要な役割を担うと
位置づけられた医療機関」

※上記①もしくは②を満たした上で、時間外・休日
労働時間が960hを超える医師がいる医療機関
が対象となる。

※県内で、B水準の施設要件を満たす医療機関は上記の19施設
※そのうち、時間外労働960hを超える医師がいると回答したのは8施設

令和6年4月に向けた想定スケジュール



- ※1 都道府県の指定を受けようとする場合は、第三者評価を受審する前までにR6以降の時短計画案を作成。（R5末までの計画作成は努力義務）
- ※2 時短計画案をもとに労働時間実績や時短の取組状況（その時点での取組実績と今後の取組目標）を評価。評価センター準備状況：R4.1.19法人公募（R4.2.4締切）、現在厚労省で審査中。
- ※3 時短計画案及び評価センターの審査結果が必要。申請様式は準備中。
- ※4 指定申請があった病院について、地域医療への影響等について地域医療対策協議会で協議した後、指定。
- ※5 時短計画に基づき取組実施。指定は3年ごとに更新。（時短計画も3年ごとに見直し）

大分県医療勤務環境改善セミナー

【テーマ】ここからが本格スタート、医師の働き方改革

【日時】令和4年2月17日 13:30～16:00

【参加人数】118名

令和3年度 大分県医療勤務環境改善セミナーのご案内

大分県、労働局委託事業

『ここからが本格スタート、医師の働き方改革』

日時 令和4年2月17日(木) 13:30～16:00

会場 オンライン(Zoom)

対象 医療機関の理事長・院長・事務部長等

今から約2年後の令和6年4月、医師の時間外労働時間の上限規制が始まります。複雑で分かりにくい医師の働き方改革の制度の概要や宿日直許可に関すること、また、医師の労働時間短縮計画の作成方法等、今後2年間の間に取り組まなければならないことについて、抑えておくべきポイントをお伝えします。

プログラム

13:30～13:35

主催者挨拶

13:35～14:10

①医師の働き方改革の概要及び令和6年度に向けて取り組むこと

大分県医療勤務環境改善支援センター 医療経営アドバイザー 眞鍋 一

14:10～14:35

②宿日直及び医師の研鑽に係る労働時間について

大分労働局労働基準部監督課

14:45～15:25

③医師の労働時間短縮計画の作成方法について

医療労務管理相談室 医療労務管理アドバイザー 本田 宗一郎

15:25～15:50

④医療労務管理相談室が支援できること

医療労務管理相談室 医療労務管理アドバイザー 菅野 忠幸

15:50～15:55

⑤情報提供

大分県福祉保健部医療政策課

主催 大分県医療勤務環境改善支援センター

後援 一般社団法人大分県医師会

定員 150名

参加費 無料

お申込方法 裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込みください。

お問合せ先 医療労務管理相談室(大分県社会保険労務士会内)
TEL 097-535-7203 FAX 097-536-5447 E-mail: iryou@sr-oita.or.jp

「医師等の宿日直許可」 及び 「医師の自己研鑽に係る労働時間」



厚生労働省
大分労働局 監督課



大分県 医療勤務環境改善 支援センター

働きやすい職場にするには…!?
離職者を減らすにはどうすれば…!?

病院の経営を
改善したいけど…!?

を利用しませんか?

本センターでは、医療経営アドバイザー(医療経営コンサルタント)と医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士)が、医療機関の多種多様なニーズに対し、訪問や電話等により専門的な支援を行っています。

相談
無料

令和6年度から、医師の時間外労働の上限規制が始まります。

相談対応の例

■ 医療経営相談 (医療経営コンサルタント)

- ・診療報酬制度、医療制度
- ・組織マネジメント
- ・経営管理、コストの適正化
- ・スタッフのキャリア形成支援
- ・関連する助成制度等

■ 医療労務管理相談 (社会保険労務士)

- ・就業規則や賃金制度の見直し
- ・有給休暇、時間外手当
- ・スタッフの健康管理、仕事と育児の両立
- ・医師の時間外労働の削減
- ・36協定の締結、見直し



勤務環境を改善すると、好循環が生まれます。

「雇用の質」向上の取組

- 働き方・休み方の改善
時間外労働・夜勤負担の削減、休暇の取得促進など
- 職員の健康支援
生活習慣病対策、メンタルヘルス対策、作業環境対策など
- 働きやすい環境整備
子育て・介護との両立支援、ハラスメント対策など
- 働きがいの向上
キャリアアップ支援、産休・育休からの復職支援など

まずは
ご相談ください!
(相談申込書は裏面)

大分県医療勤務環境改善支援センター

(〒870-8501 大分市大手町 3-1-1 大分県福祉保健部医療政策課内)
受付時間 平日 9 時～17 時 (土・日・祝日・年末年始を除く)

TEL: 097-506-2656 FAX: 097-506-1734 E-mail: a12620@pref.oita.lg.jp

R3年度実績

【相談対応】 105件

(主な相談内容)

- ・医師の時間外労働規制への対応
- ・宿日直許可申請
- ・働き方改革
- ・労務管理、36協定
- ・組織改革、満足度調査
- ・同一労働同一賃金
- ・ハラスメント
- ・女性活躍推進法
- ・コロナ禍による収入減少と昇給・賞与

【訪問支援】 23件

(主な支援内容)

- ・医師の時間外労働上限規制適用に向けた病院の実態確認
- ・就業規則、宿日直許可について
- ・ハラスメント研修

勤務医の労働時間短縮に向けた体制整備事業

1 目的

地域医療に特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっている医療機関における医師の労働時間短縮を強力に進めるため、個々の医療現場が行うチーム医療やICTの活用等による業務改善の取組を支援する。

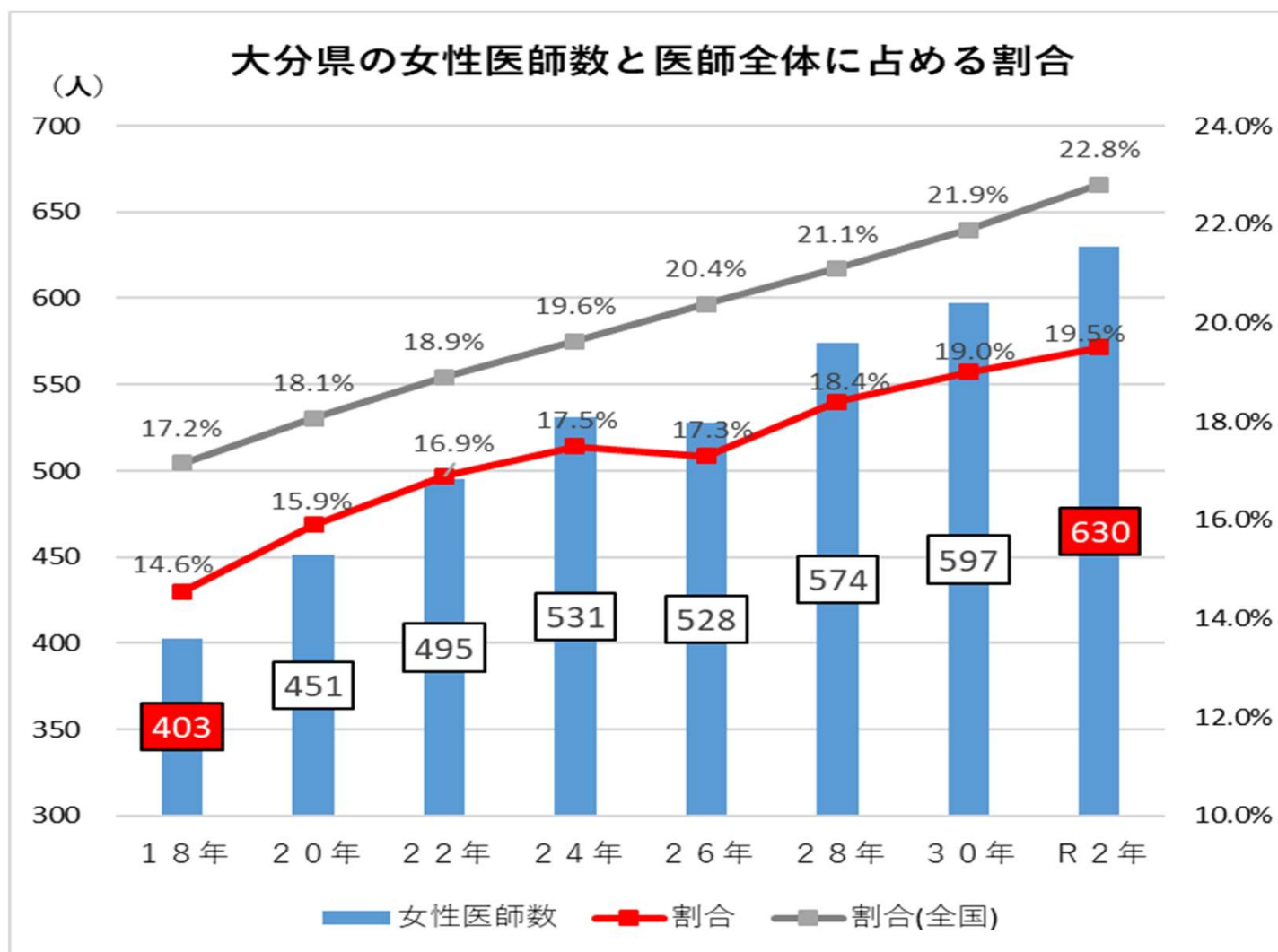
2 補助実績 R3年度 3医療機関（R4年度も事業継続）

- ・救急対応可能な医師の確保
⇒休日・時間外労働の縮減、日当直回数の削減等が可能
- ・育児短時間勤務医師の追加配置
⇒人員不足の診療科に配置することで、時間外労働時間を縮減
- ・看護補助者、医師事務作業補助者、救急救命士の雇用
⇒予診や検査手順の説明、入院説明、書類作成代行等を医師の代わりに行う
補助人材を確保
- ・特定行為を行う看護師の養成
⇒医師の業務のタスクシフトを促進

※地域医療介護総合確保基金(区分6)を活用

大分県における女性医師支援(県内の女性医師数の推移)

平成18年に403人だった女性医師数は、令和2年には630人に増加しており、医師全体に占める割合は14.6%から19.5%まで上昇している。



女性医師短時間正規雇用支援事業

1 目的

短時間正規雇用を導入する医療機関を支援し、勤務医の加重労働の軽減及び女性医師の出産・育児等と勤務の両立を可能とし、医師の離職防止・復職支援を図る。

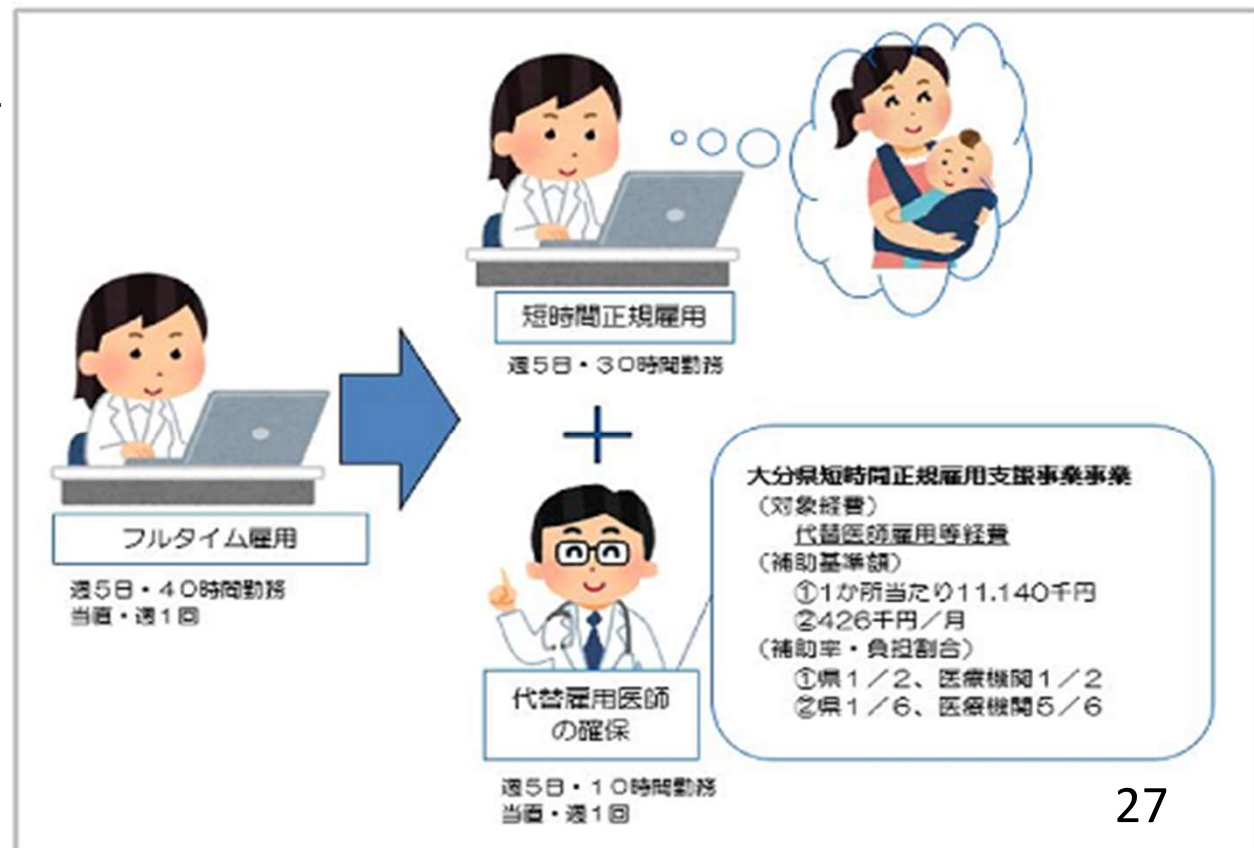
2 補助事業の概要

短時間正規雇用を導入するために必要な代替医師の人件費に対し助成

3 R3補助実績

産婦人科医院や小児科
病院など4施設
→短時間正規雇用8人

※R4年度 6施設(予定)



院内保育への支援

1 運営費補助

子どもを持つ医師や看護師等の医療従事者を確保するため、病院内保育所に対する運営費を補助する。

対象施設：新規開設後10年以内の病院又は診療所

児 童 数：1人以上6人未満

補助金額：1施設 2,124千円

2 施設設備整備補助

病院内保育所の新設又は増改築に要する経費に対して補助する。

基準単価(上限) 197,300円

基準面積(上限) 児童数30人×児童1人あたり5m²=150m²

補 助 率 単価×面積×0.33

※このほか、公益財団法人児童育成協会の企業主導型保育事業による運営費や設備整備の助成金あり

女性医療人キャリア支援センター事業への支援①

大分大学医学部女性医療人キャリア支援センター

設置主体: 大分大学医学部附属病院

設置年度: 平成26年度

○平成26～28年度

相談窓口の設置、啓発セミナーの開催、キャリアパス相談会の実施、
女性医師交流会、イクメンパパの会の開催等

○平成29年度

職場復帰に向けた知識や手技の習得のためのe-learningシステムの構築

○令和元年度

大学病院における女性医師の復帰支援プログラムの作成支援
女性医師キャリアサポートガイドブックの作成 等

女性医療人キャリア支援センター事業への支援②

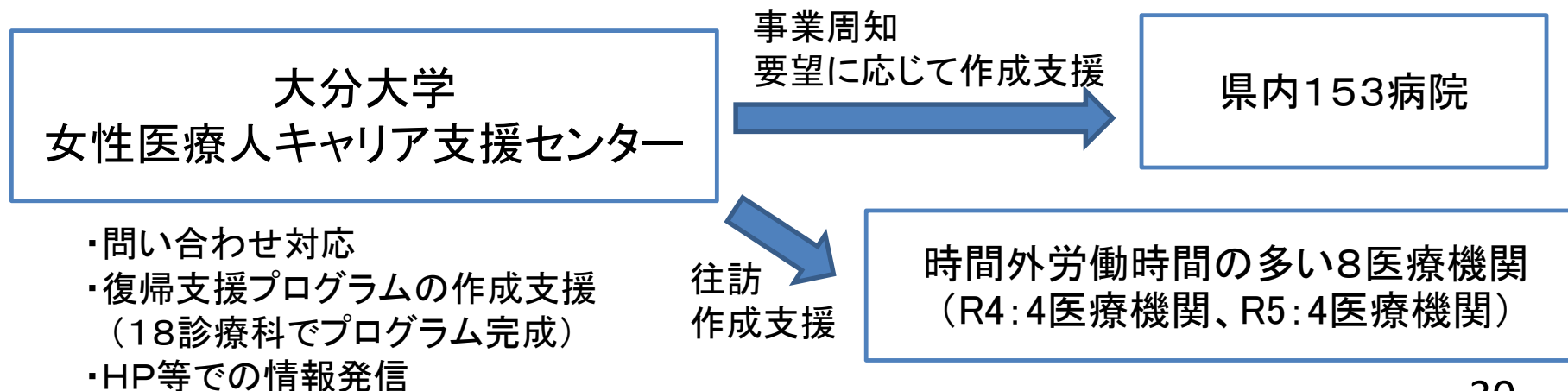
○令和4年度

出産・育児等により多様な働き方を必要とする女性医師の復職しやすい環境の整備、復職支援を通じた人材確保の推進のため、**県内医療機関の復帰支援プログラム※**作成支援に要する経費を助成

※医師の時間外労働規制の開始を見据え、特に時間外労働の多い医療機関（ヒアリング結果に基づく8医療機関）を中心に作成を支援

復帰支援プログラムとは

出産や育児により一旦離職した女性医師が臨床現場に復帰しやすいよう、医療機関が作成するプログラムのこと。復帰支援プログラムでは、指導医のもと、検査や治療の手技、外来や病棟診療における様々な業務について、独立して対応できるまでの概ねの研修期間を設けており、復帰を希望される女性医師に合わせてオーダーメイドで作成する。



私たちが目指す姿

どこに住んでいても、安全で質の高い
医療サービスが受けられる体制



医師の地域偏在対策

診療科の偏在対策



男性医師も女性医師も共に働きやすい環境づくり

医師が心身ともに健康で、そのポテンシャルを十二分に発揮

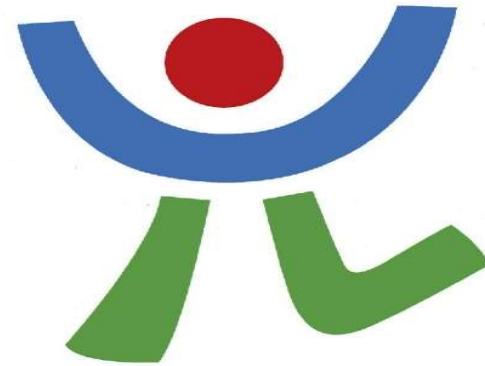
- ・長時間労働対策
- ・産育休からの復帰支援
- ・チーム医療の推進 など



2019健康寿命
男性1位 女性4位



目指せ!
健康寿命日本一



おおいた

ご静聴ありがとうございました。